

令和5年度第2回県政モニターアンケート結果の概要について

1 調査の概要

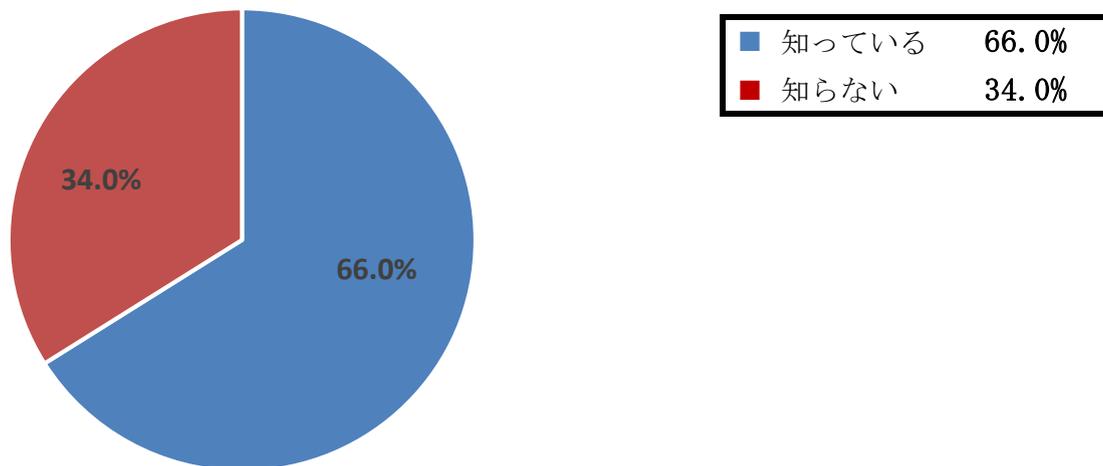
- (1) 調査期間 令和5年8月10日～令和5年8月31日
- (2) 調査方法 郵送、電子申請
- (3) 調査対象 県政モニター 198名
- (4) 回収数(率) 162名 (81.8%)
- (5) 調査内容 ①ウェルビーイング (well-being)について (成長戦略室ウェルビーイング推進課)
②雪に関する意識調査について (県民生活課)

2 調査結果の概要

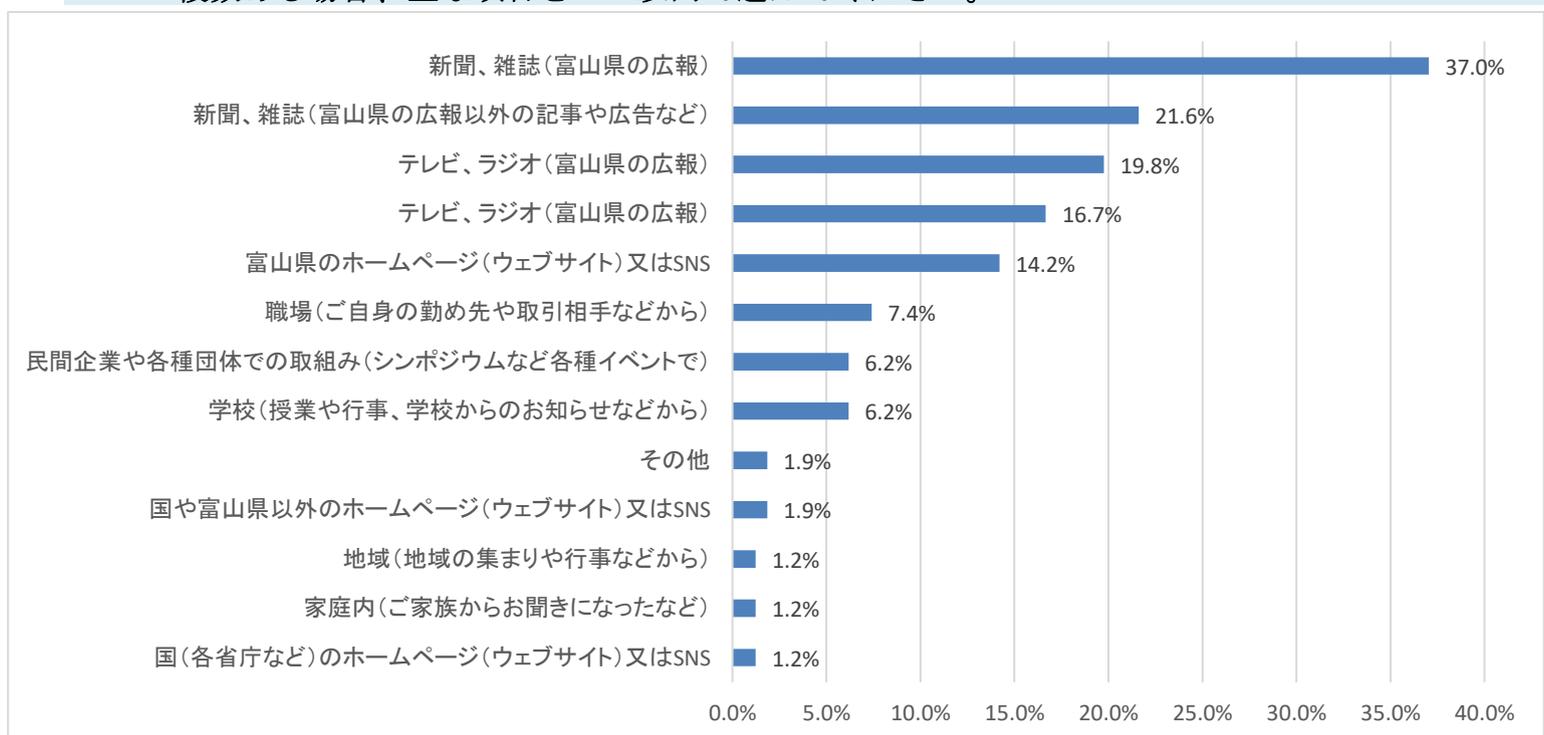
※回答率は、小数点第2位を四捨五入したため、合計が100%にならない場合があります。

①ウェルビーイング (well-being)について (成長戦略室ウェルビーイング推進課)

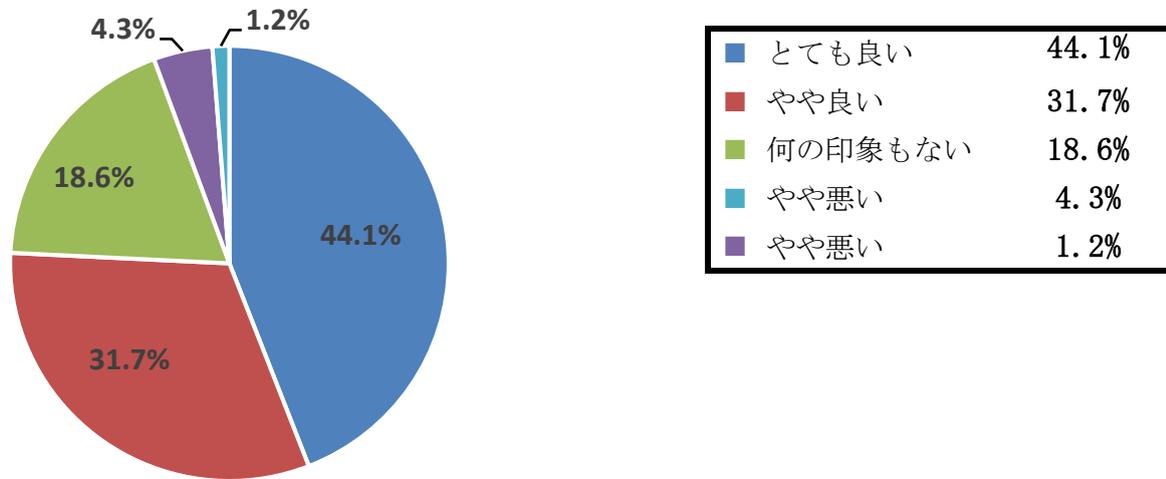
問1 あなたは、「ウェルビーイング (well-being)」をご存知ですか。



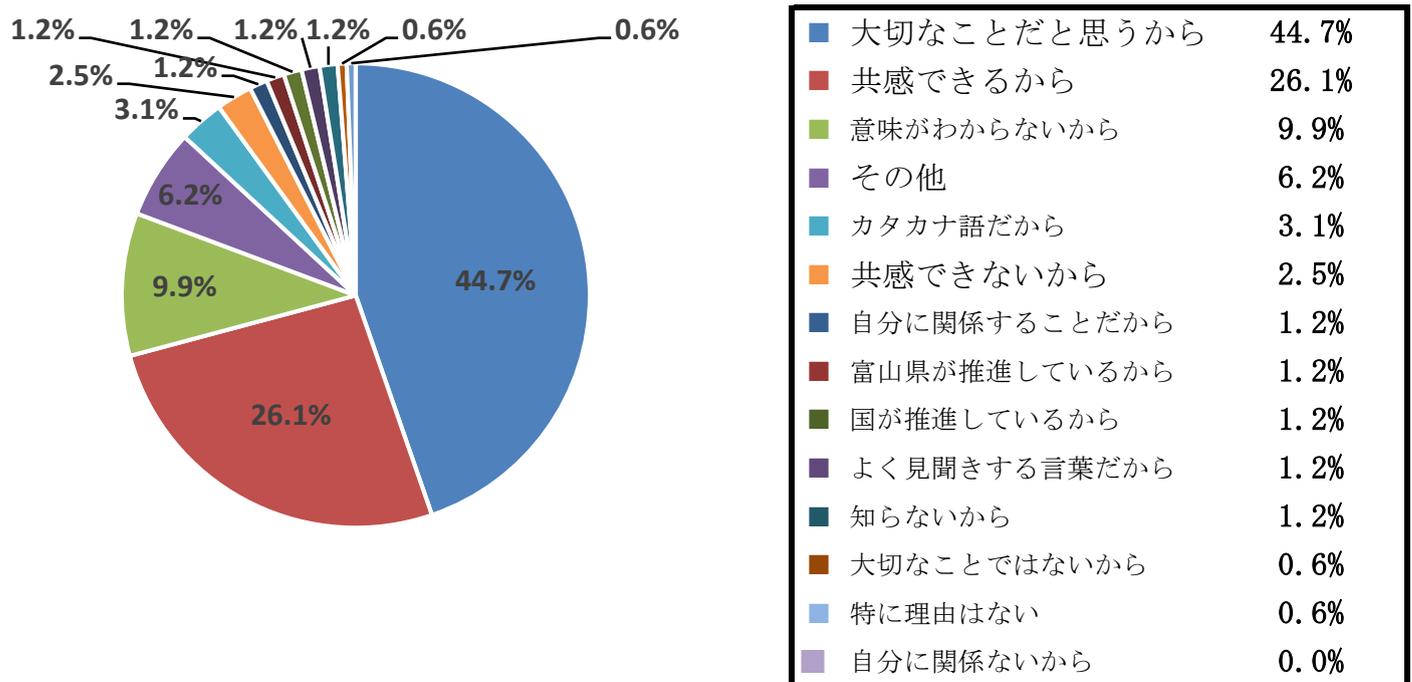
問2 あなたは、「ウェルビーイング (well-being)」を、どこ (何) でお知りになりましたか。複数ある場合、主な項目を3つ以内で選んでください。



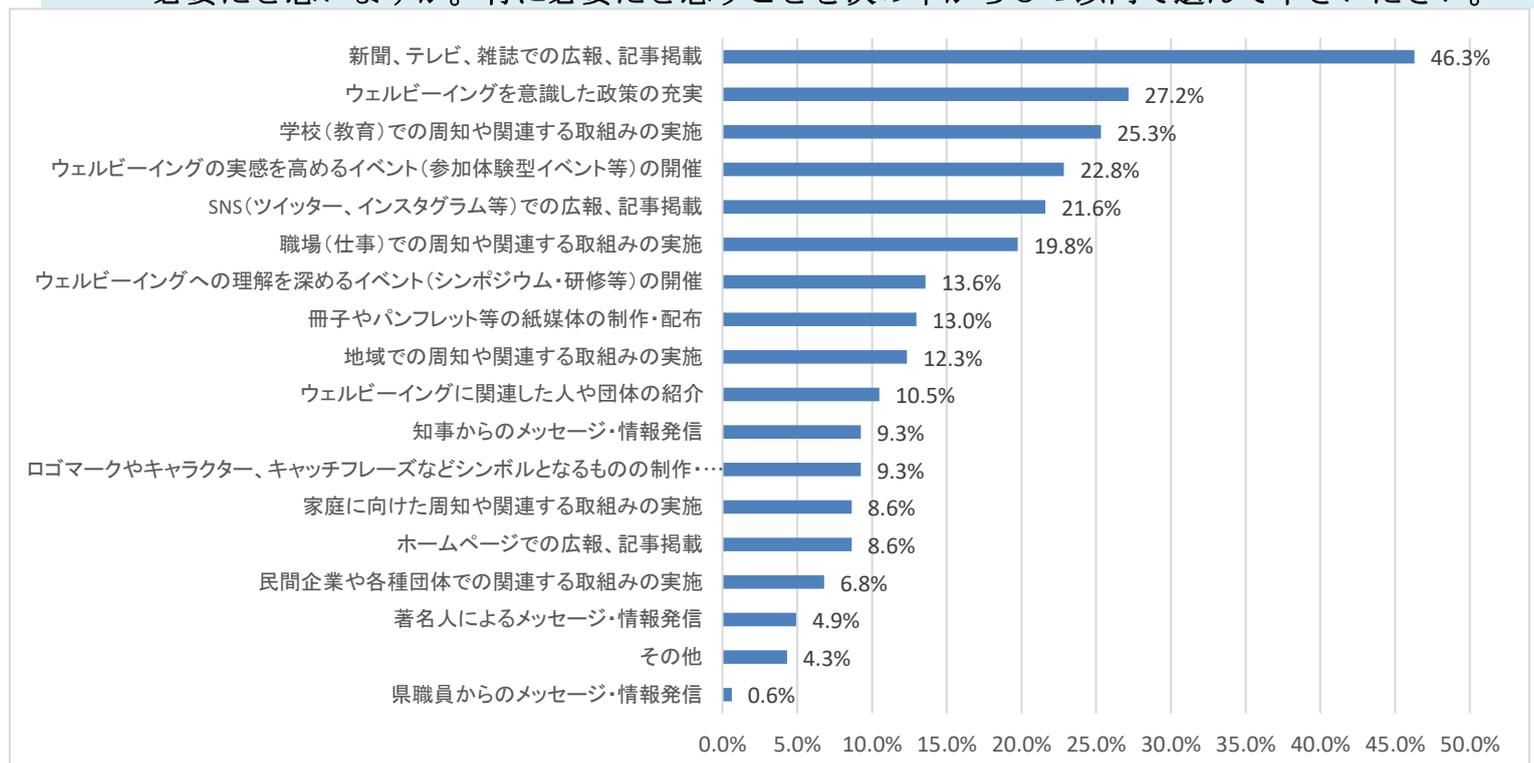
問3 ウェルビーイング (well-being) は、「心も身体も社会的にも満たされた状態」、実感としての幸せ」、「心の豊かさ」などを表す言葉で、富山県の成長戦略では、「収入や健康といった外形的な価値だけでなく、キャリアなど社会的な立場、周囲の人間関係や地域社会とのつながりなども含めて自分らしくいきいきと生きられること。主観的な幸福度を重視。」と説明し、戦略の中核として位置づけています。この「ウェルビーイング (well-being)」について、どのような印象をお持ちですか。



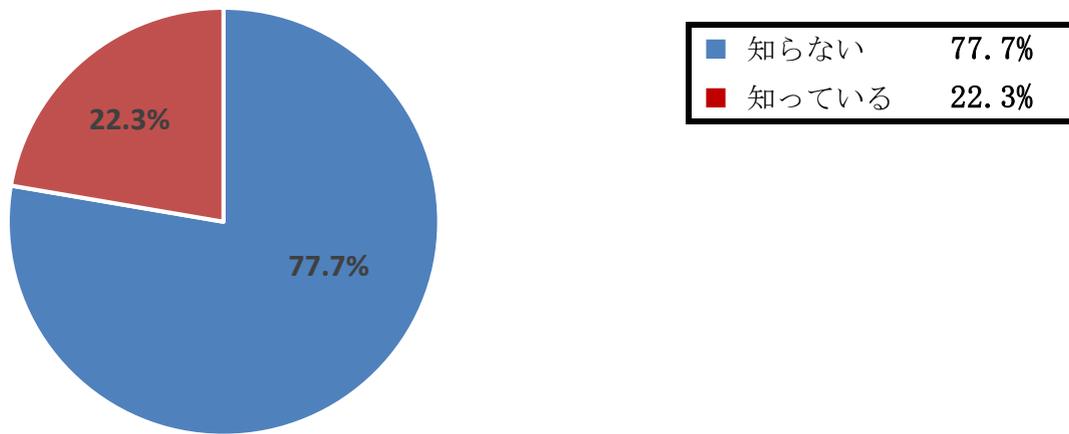
問4 問3の回答の主な理由を次の中から1つ選んでください。



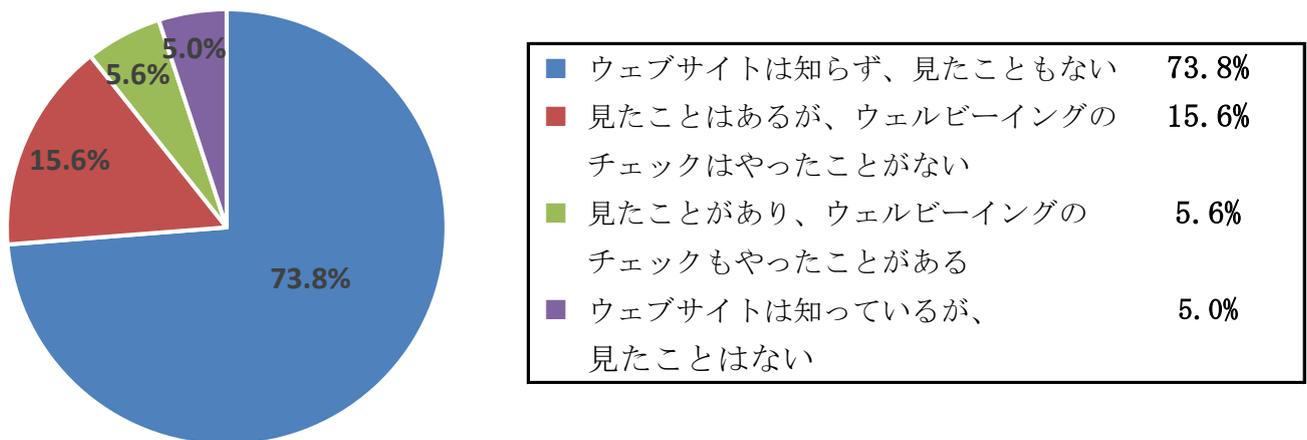
問5 ウェルビーイング (well-being) の認知を高めるために、どのような周知や取組みが必要だと思いますか。特に必要だと思うことを次の中から3つ以内で選んで下さい。



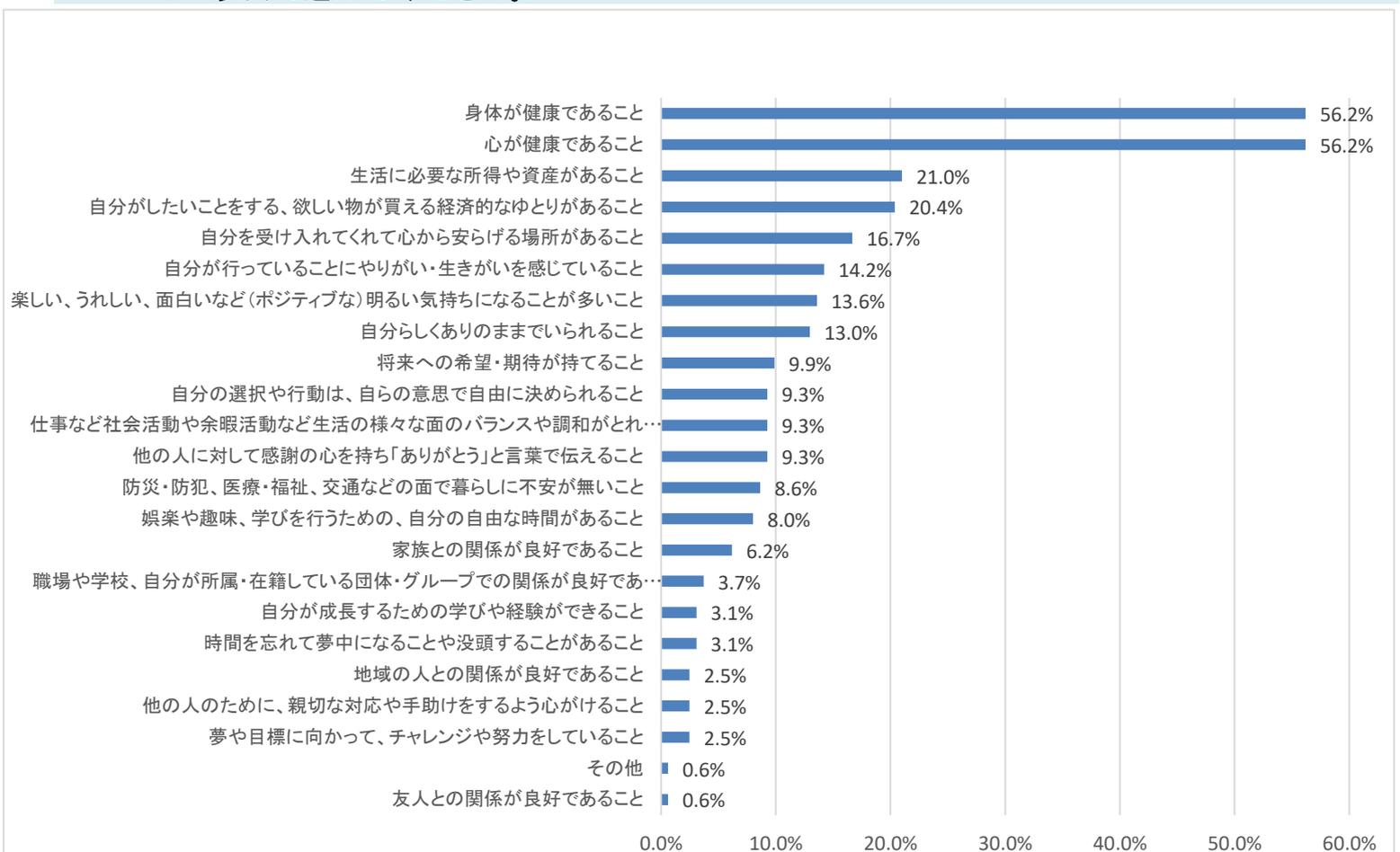
問6 富山県では、「ウェルビーイング (well-being)」の状況や推移を把握・分析し、より良い政策に活かすため、また県民の皆様にもウェルビーイングを自分ごと」として認知・意識していただくため、「富山県ウェルビーイング指標」を新たに策定し、今年1月に公表しました。この指標をご存知ですか。次の中から1つ選んでください。



問7 富山県では、指標に基づき、あなた自身の「ウェルビーイング (well-being)」の状況を、設問に答えることでチェックし表示できるウェブサイト（「わたしの みんなのウェルビーイングアクション！」 <https://wellbeing.pref.toyama.jp/>）を今年3月に開設しました。また、このウェブサイトでは、ウェルビーイングに関する様々な情報も発信しています。このウェブサイトをご利用になったことはありますか。次の中から1つ選んでください。

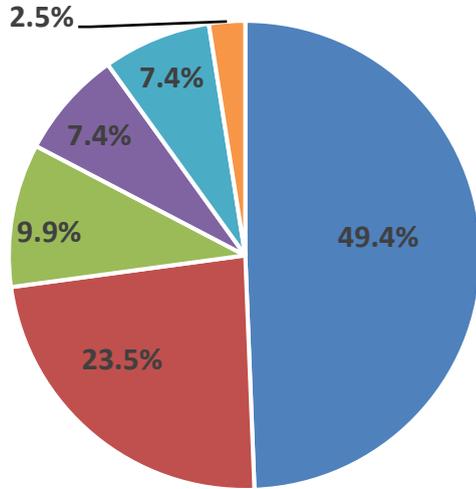


問8 ウェルビーイングを高めるため、あなた自身にとって特に大切だと思うことを、次の中から3つ以内で選んでください。



②雪に関する意識調査について（県民生活課）

問1 あなたは、最近の雪の量はどのように変化してきたと感じますか。

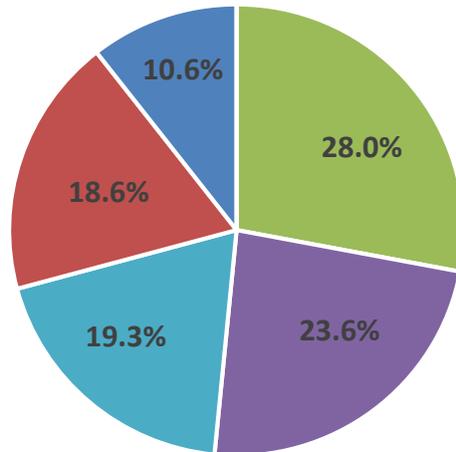


■ 全体では減ったと思うが、短期間に多く積もることがある	49.4%
■ ずいぶん減った	23.5%
■ 少し減った	9.9%
■ かわらない	7.4%
■ 少し増えた	7.4%
■ わからない	2.5%

問2 たくさん雪が降ったとき、あなたは、次の1～6について、どのように感じましたか。

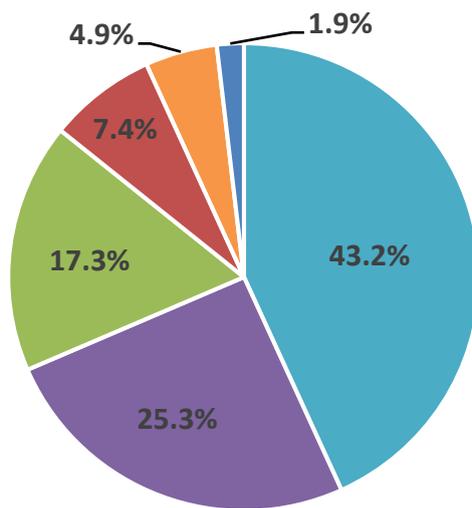
■ A：大変よかった ■ B：ややよかった ■ C：普通である
 ■ D：やや悪かった ■ E：悪かった ■ F：わからない

1. 車道の除雪（消融雪装置を含む）



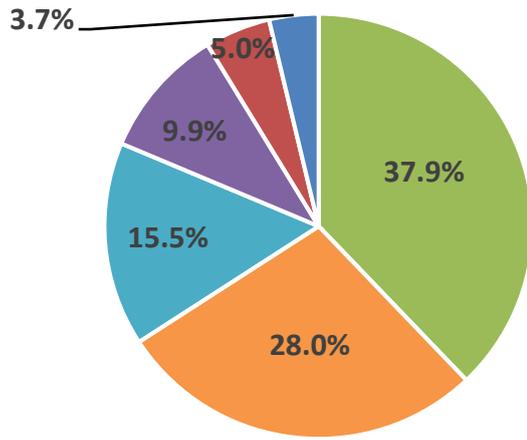
■ C：普通である	28.0%
■ D：やや悪かった	23.6%
■ E：悪かった	19.3%
■ B：ややよかった	18.6%
■ A：大変よかった	10.6%
■ F：わからない	0.0%

2. 歩道の除雪



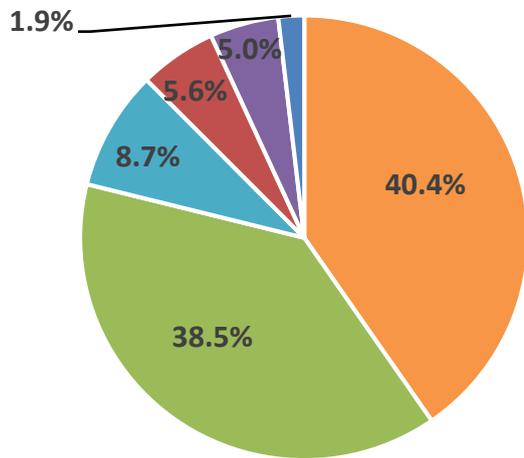
■ E：悪かった	43.2%
■ D：やや悪かった	25.3%
■ C：普通である	17.3%
■ B：ややよかった	7.4%
■ F：わからない	4.9%
■ A：大変よかった	1.9%

3. 町内会などが共同で行う地域ぐるみの除排雪



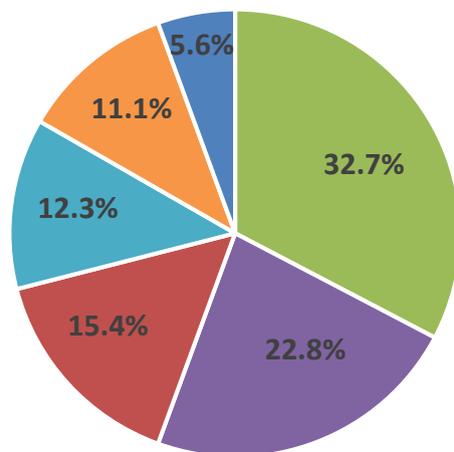
C : 普通である	37.9%
F : わからない	28.0%
E : 悪かった	15.5%
D : やや悪かった	9.9%
B : ややよかった	5.0%
A : 大変よかった	3.7%

4. 雪崩対策など防災施設の整備



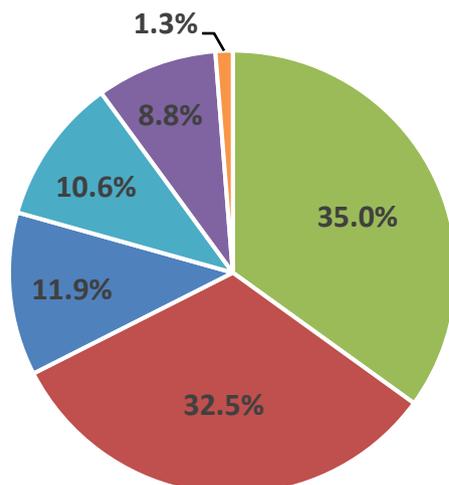
F : わからない	40.4%
C : 普通である	38.5%
E : 悪かった	8.7%
B : ややよかった	5.6%
D : やや悪かった	5.0%
A : 大変よかった	1.9%

5. 公共交通機関の運行体制



C : 普通である	32.7%
D : やや悪かった	22.8%
B : ややよかった	15.4%
E : 悪かった	12.3%
F : わからない	11.1%
A : 大変よかった	5.6%

6. 気象、道路交通情報の提供

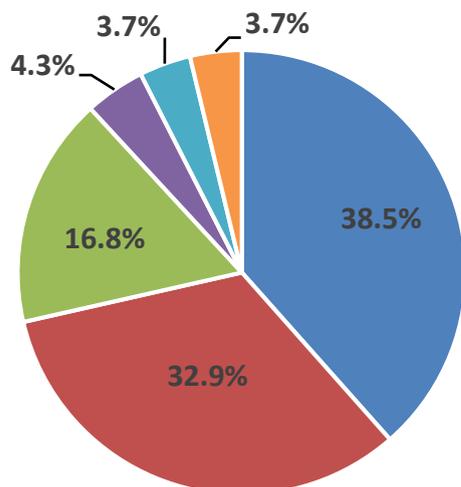


C : 普通である	35.0%
B : ややよかった	32.5%
A : 大変よかった	11.9%
E : 悪かった	10.6%
D : やや悪かった	8.8%
F : わからない	1.3%

問3 地域の除排雪を行うためには、雪処理の担い手などを確保する必要がありますが、そのためには、どのような対策が重要だと思いますか。次の1～5について、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

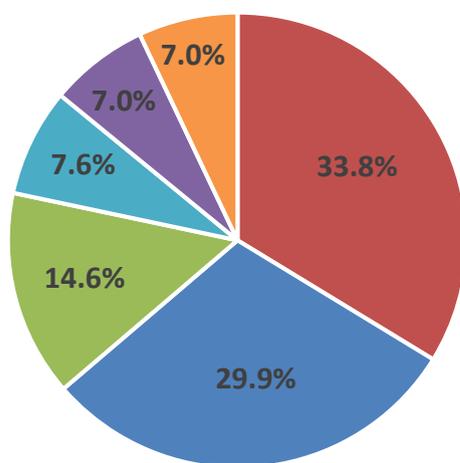
- A：大変重要 ■ B：やや重要 ■ C：普通である ■ D：あまり重要でない
 ■ E：重要でない ■ F：わからない

1. 地域ぐるみでお互いに助け合う体制の整備



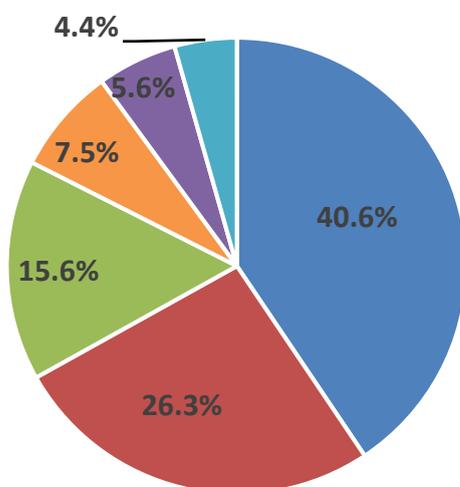
■ A：大変重要	38.5%
■ B：やや重要	32.9%
■ C：普通である	16.8%
■ D：あまり重要でない	4.3%
■ E：重要でない	3.7%
■ F：わからない	3.7%

2. 除雪ボランティア等による支援



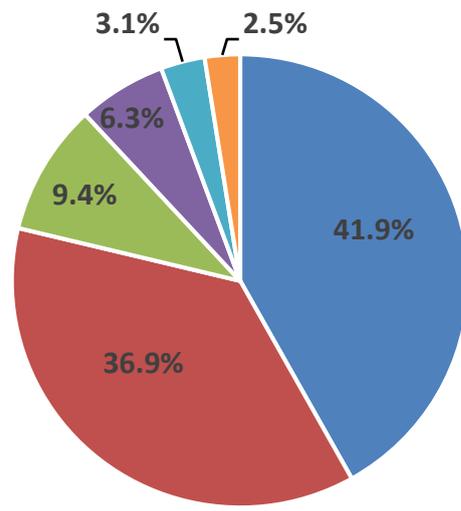
■ B：やや重要	33.8%
■ A：大変重要	29.9%
■ C：普通である	14.6%
■ E：重要でない	7.6%
■ D：あまり重要でない	7.0%
■ F：わからない	7.0%

3. 有料での除雪業者等の派遣



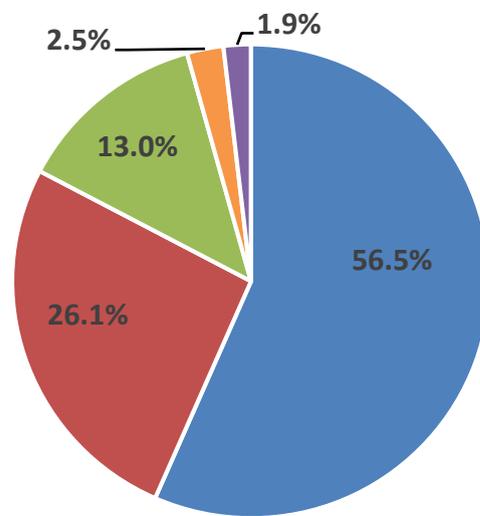
■ A：大変重要	40.6%
■ B：やや重要	26.3%
■ C：普通である	15.6%
■ F：わからない	7.5%
■ D：あまり重要でない	5.6%
■ E：重要でない	4.4%

4. 地域への小型除雪機の配備・貸与



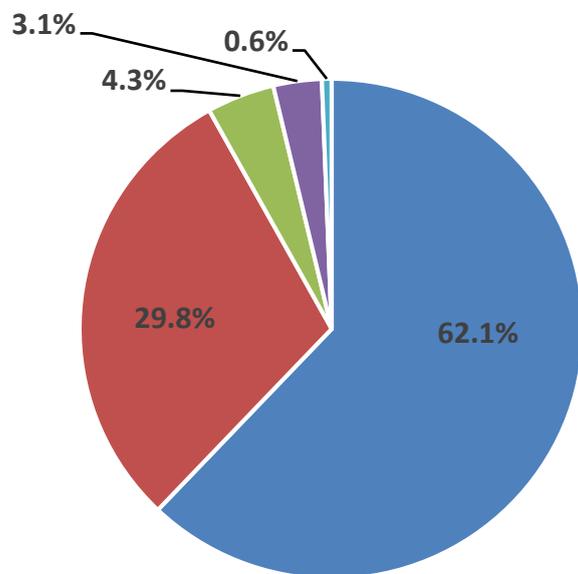
■ A : 大変重要	41.9%
■ B : やや重要	36.9%
■ C : 普通である	9.4%
■ D : あまり重要でない	6.3%
■ E : 重要でない	3.1%
■ F : わからない	2.5%

5. 除雪オペレーター（運転手）の養成



■ A : 大変重要	56.5%
■ B : やや重要	26.1%
■ C : 普通である	13.0%
■ F : わからない	2.5%
■ D : あまり重要でない	1.9%
■ E : 重要でない	0.0%

問4 近年、大雪が予想される日には、「不要不急の車での外出を控えるほか、運送事業者や荷主は送計画の見直しを検討すること、企業は臨時休業や早めの帰宅を実施すること」などを県が呼びかけていますが、このことについてどのように感じますか。

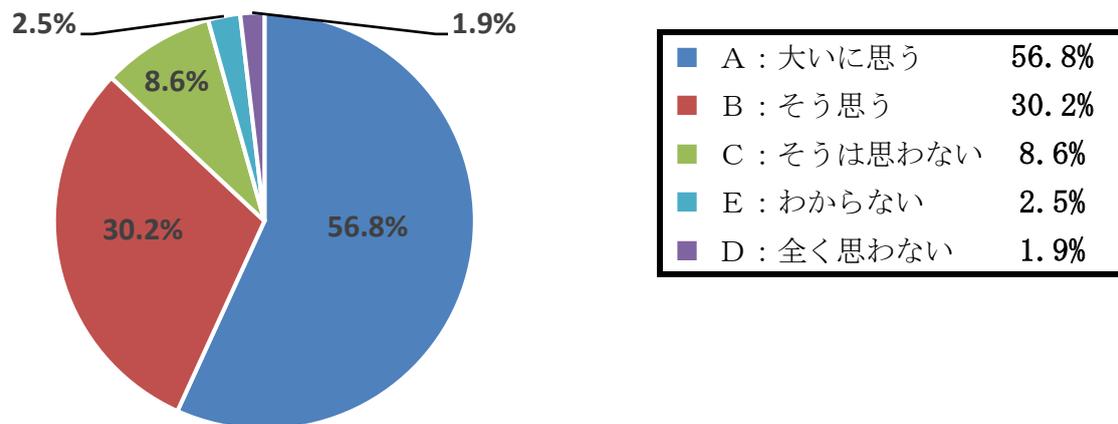


■ 大いに賛成である	62.1%
■ どちらかといえば賛成である	29.8%
■ どちらかといえば反対である	4.3%
■ わからない	3.1%
■ 大いに反対である	0.6%
■ 聞いたことがない	0.0%

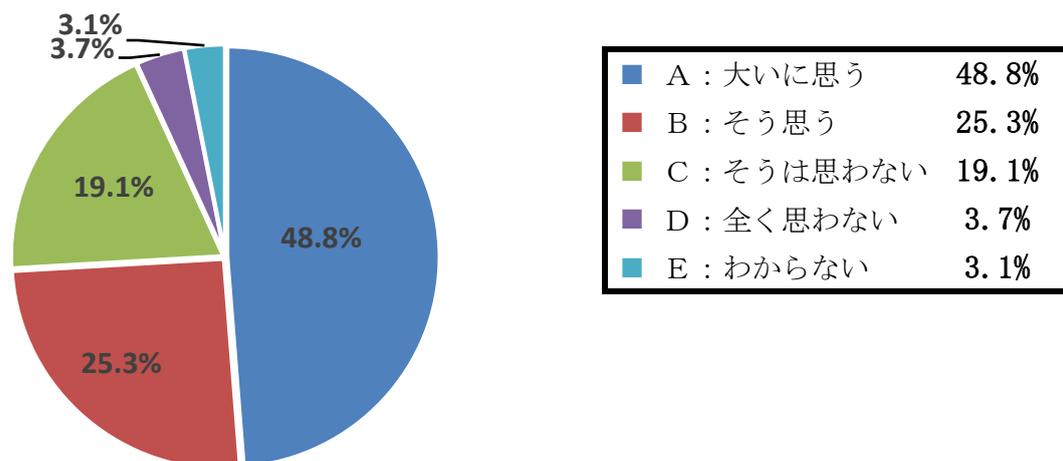
問5 大雪が予想される日に、「不要不急の車での外出を控えるほか、運送事業者や荷主は運送計画の見直しを検討すること、企業は臨時休業や早めの帰宅を実施すること」を実現するためにはどのようなことに取り組んでいけばよいと思いますか。
次の1～6について、それぞれ該当するものを1つ選んでください。

■ A：大いに思う ■ B：そう思う ■ C：そうは思わない ■ D：全く思わない
■ E：わからない

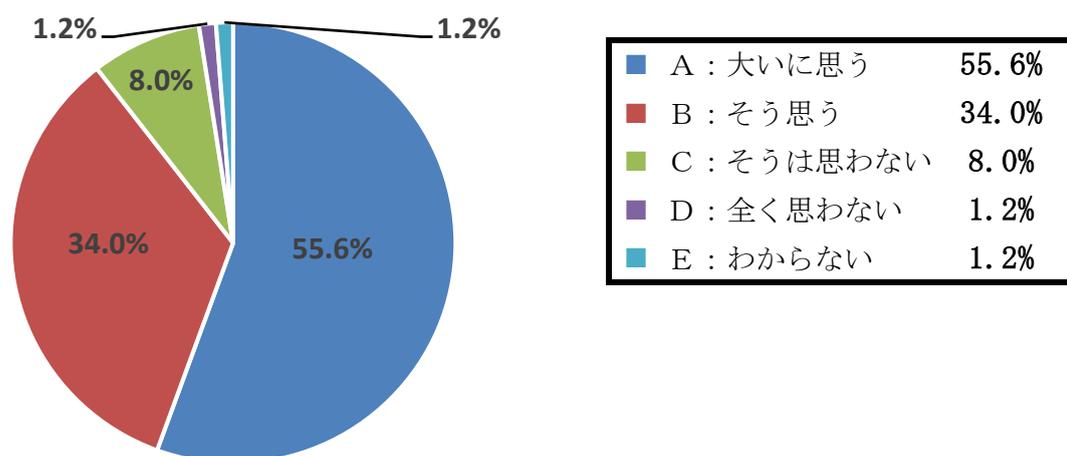
1. 大雪が多い時期には、もっと積極的にリモート等による在宅勤務や在宅授業などを行えばよい



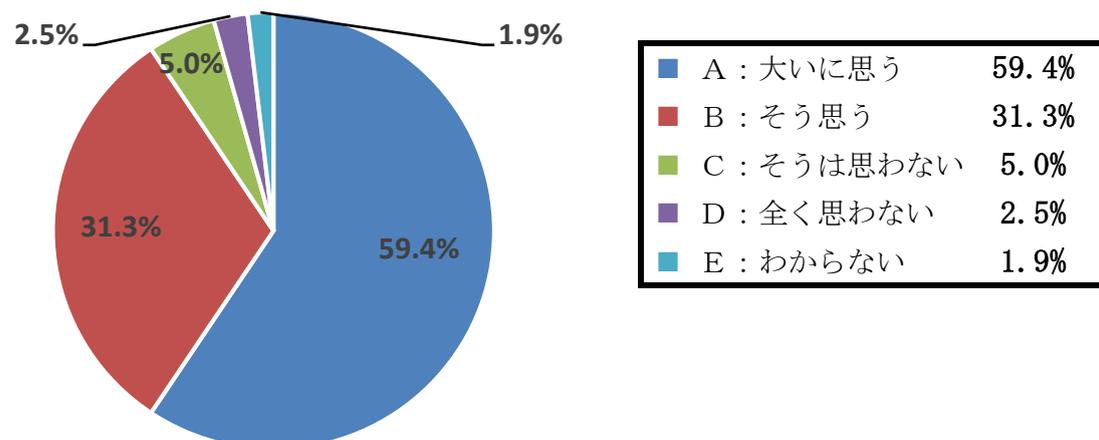
2. 大雪の日の出控え等への要請は、呼びかけだけではなく、もっと行政が強制力を持って取り組むべきだ



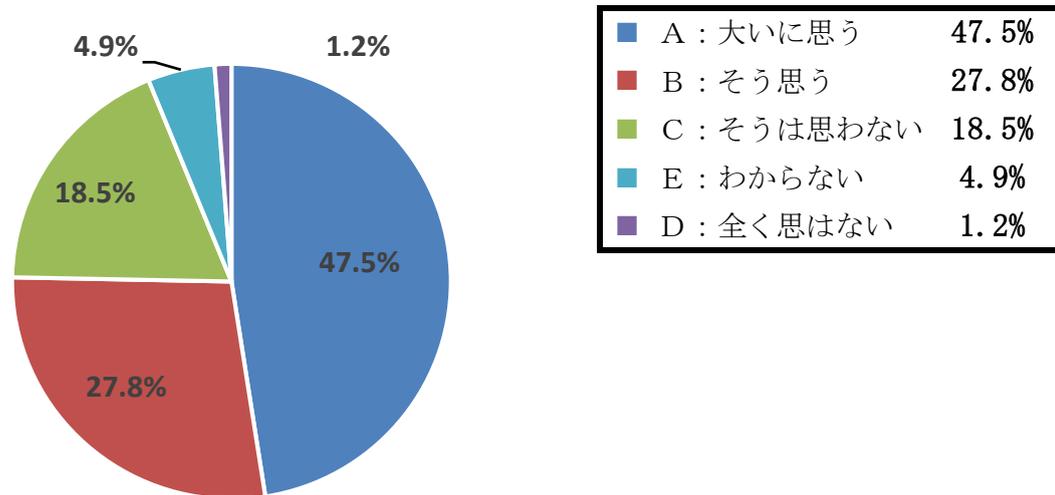
3. 大雪の日には、無理をせずに会社や学校を休んでもよいという雰囲気・考え方を普及させればよい



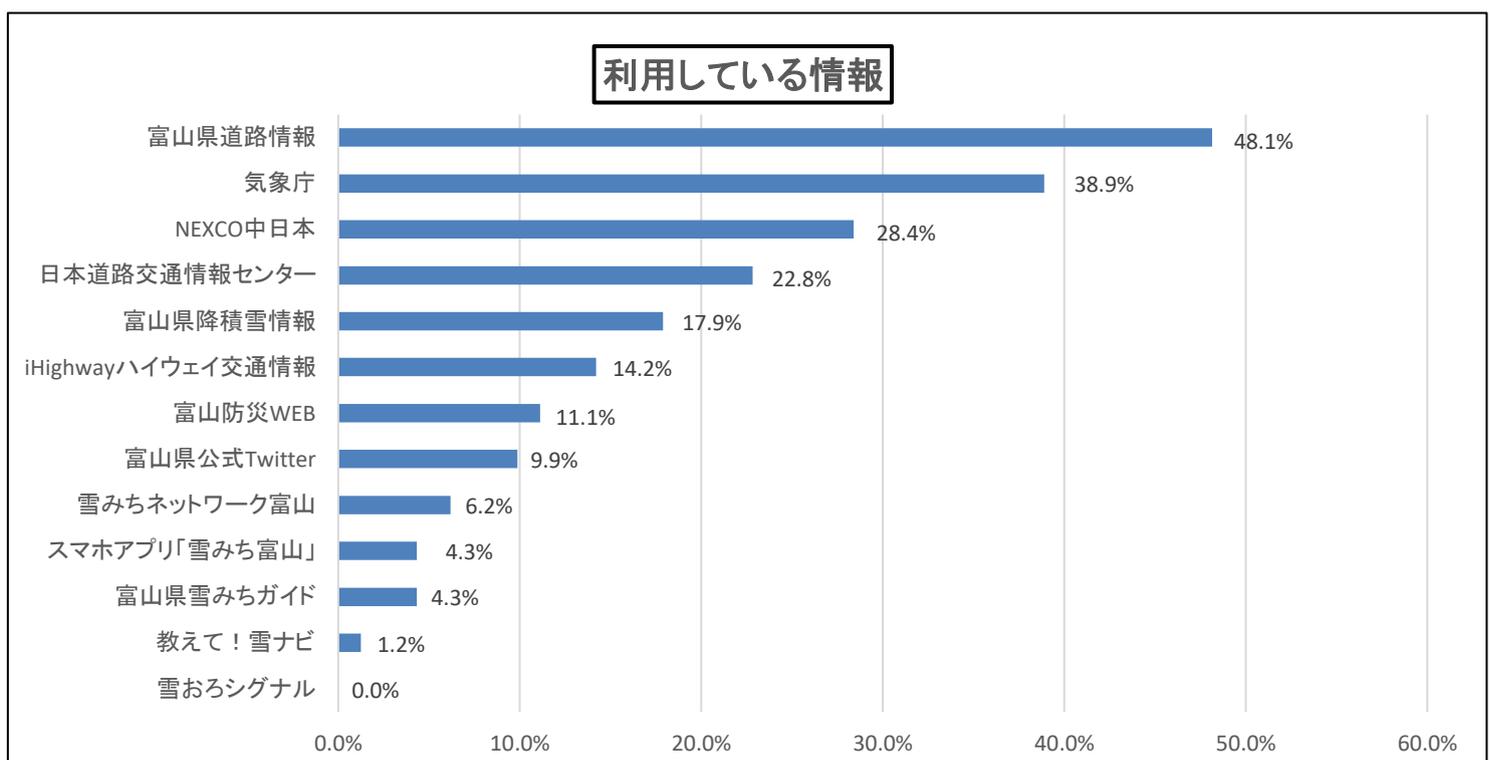
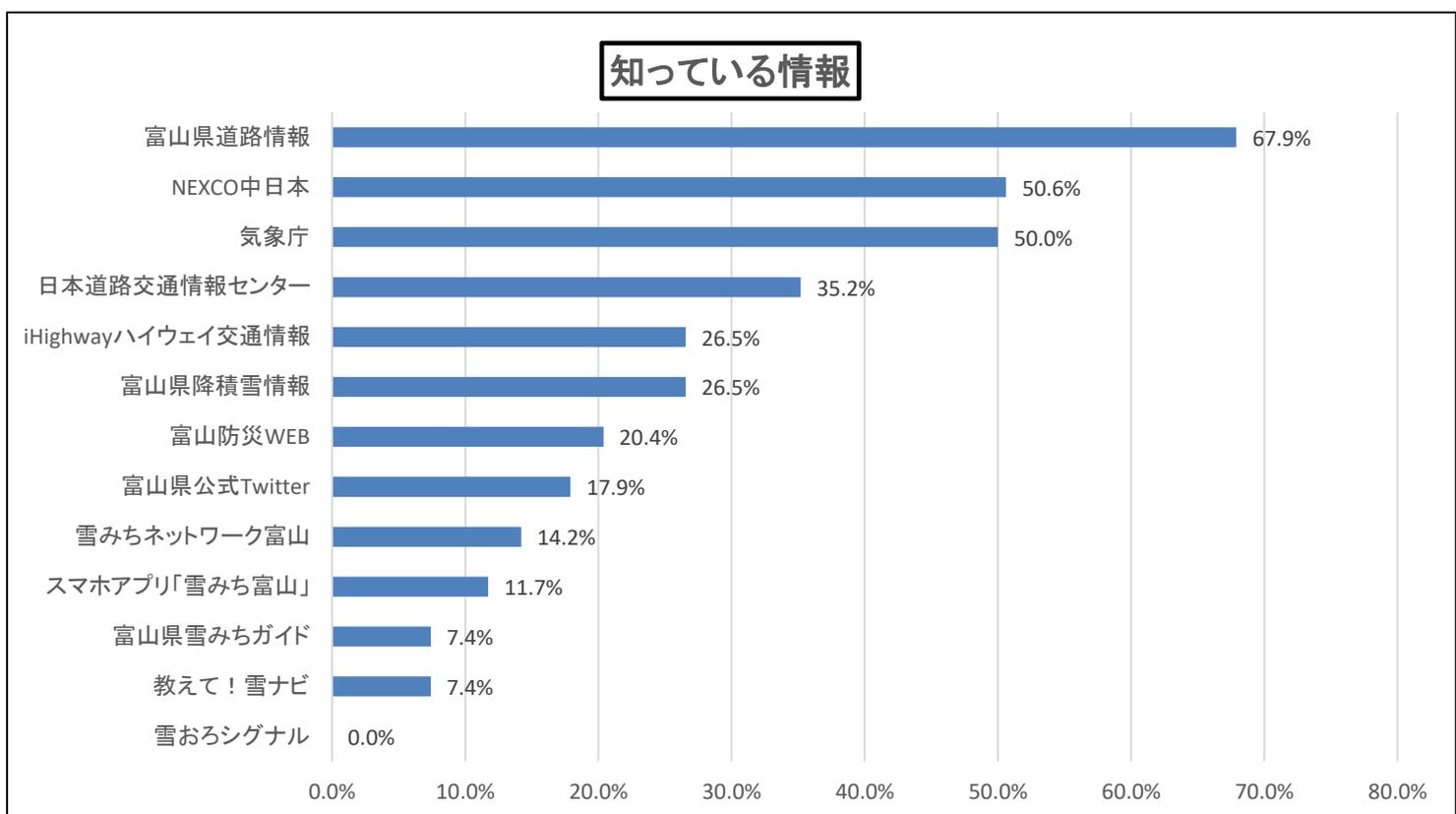
4. 大雪の日には、物流・配達などが遅れても許されるような社会の雰囲気・考え方を普及させればよい



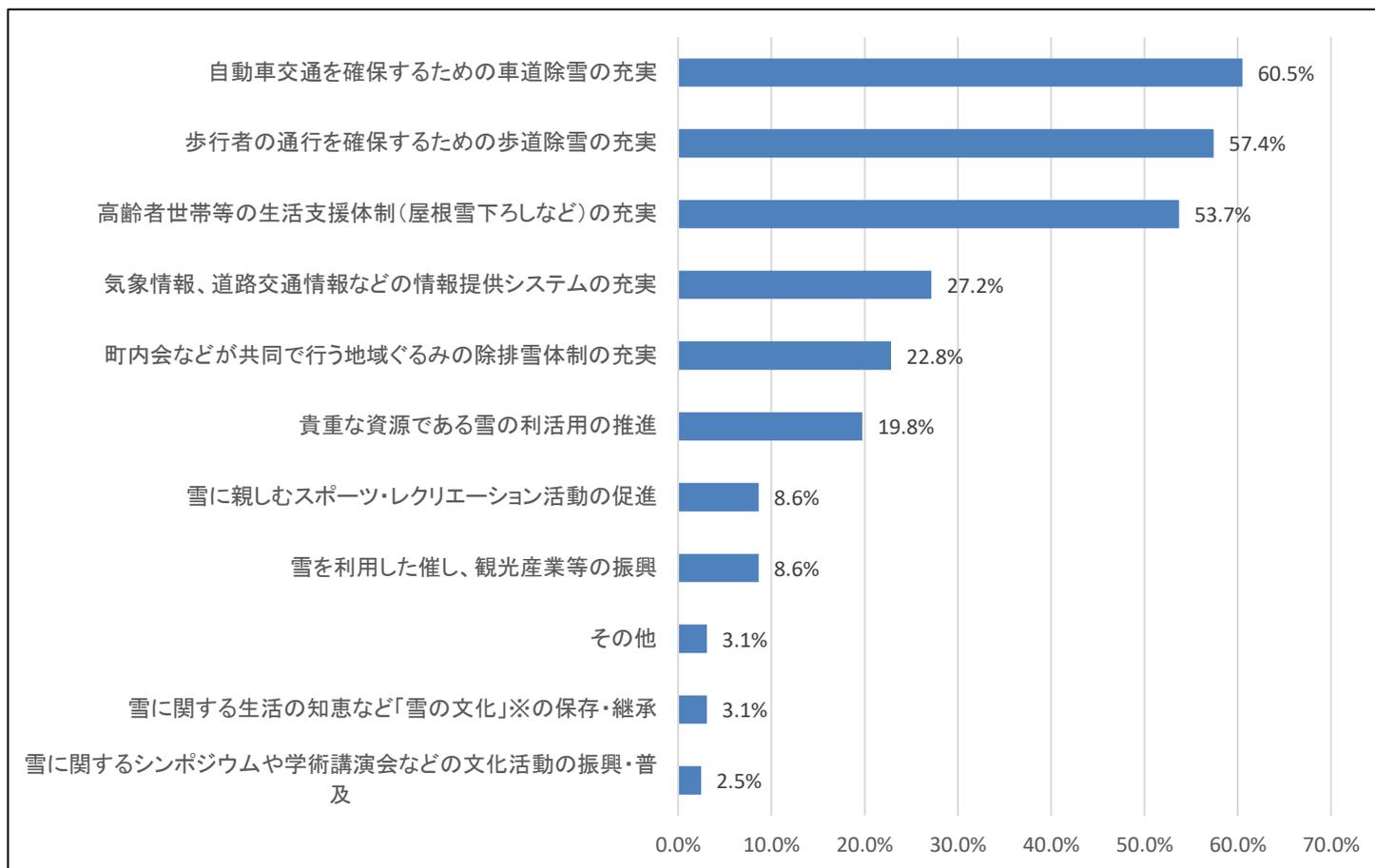
5. 大雪の日には、スーパーや商店等が臨時休業しても許されるような社会の雰囲気・考え方を普及させればよい



問6 現在、インターネット等では、冬期の気象情報や道路情報（積雪量、気温、路面画像等）が提供されています。これらの情報は、パソコンやスマホ等でご覧いただけますが、あなたはどれぐらいご存じですか。知っている情報と、利用している情報を教えてください。



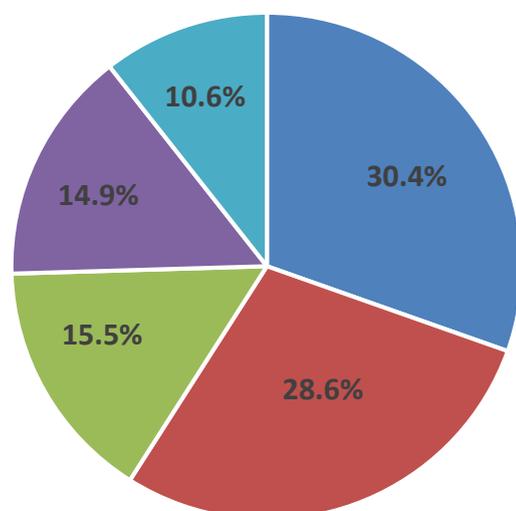
問7 富山の冬をより暮らしやすいものとするために、あなたが特に重要と思う雪対策を次の中から3つ以内で選んでください。



※「雪の文化」については、明確に定義されたものはないことから、今回のアンケートでは次のように定義します。

- ・降積雪期における雪国の衣食住に関する生活文化（例：雪囲い、雪吊り、雪下ろし、かぶら寿し、越冬だいこん等）
- ・降積雪期におけるスポーツ・レクリエーション（例：スキー、雪合戦等）
- ・雪を使った、あるいはテーマとした芸術（例：雪像、絵画、音楽、舞踊等）

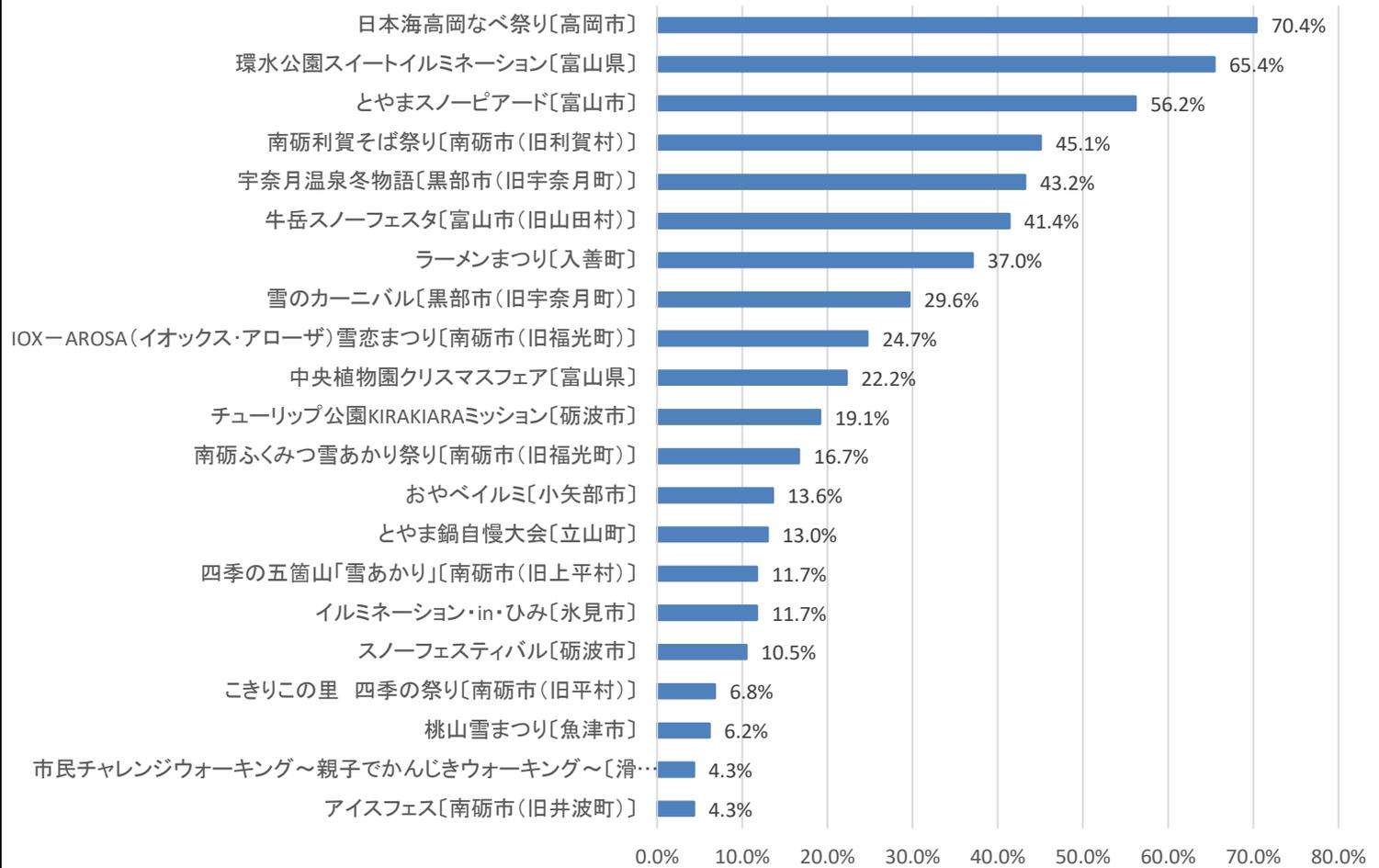
問8 あなたは、雪国富山県で暮らして良かったと思いますか。



どちらともいえない	30.4%
どちらかといえばそう思う	28.6%
たいへん良かったと思う	15.5%
あまりそうは思わない	14.9%
全く思わない	10.6%

問9 現在、県内各地で雪に関わる様々な催しが開催されています。次の1～21について、知っているものすべて教えてください。又、過去6年間にあなたが参加したことがあるものについても教えてください。

知っている催し



参加したことがある催し

